

## 「全鍍連」 2020年 5月号 理事長のよこがお

岐阜県メッキ工業組合 理事長 石垣 彰寛

「頑張れニッポン どうなる東京五輪・パラリンピック」



この投稿は3月30日に書いたものです。3月初めより投稿文を考えはじめましたが、この2か月で情勢は刻々と変わり今や全世界が恐怖と混乱の中に陥るとは誰も想像していなかった事でした。

新型コロナウイルスのニュースが報道され始めたのは1月、それから2か月の間に瞬く間に全世界に蔓延したのです。誰もが想像もつかないこの現状に全世界が困惑し、3月30日現在全世界での感染者70万人、死者3万3千人と言う未曾有の感染症となっています。爆発的感染力も凄くこの3日間で20万人増加しています。これを見ると1918年のスペイン風邪、1956から1957年に世界的に流行したアジア風邪、1968年の香港風邪のように世界的大流行と同じように危機的な状況と言えるでしょう。現在はアメリカ、ヨーロッパでの感染が多く、医師不足、病床数の不足で医療崩壊が起きて多くの犠牲者を出す事となっています。日本政府は、感染者は少ないものの東京で感染経路の不明な患者が発生しこれ以上の感染拡大を防ぐ為非常事態宣言を発令するか、首都封鎖をするか、本当に爆発的な感染拡大に歯止めを掛ける為の対策に追われています。

そんな中、3月24日日本政府、東京2020組織委員会、並びにI O Cは東京五輪・パラリンピックの開催について延期したと発表、この決断はコロナウイルスが収まらない現状を見ると当然の処置なのだと思います。ここまでいくたの困難を乗り越え東京五輪・パラリンピック開催に尽力された方々、又、厳しい予選を勝ち抜いて出場を決めた出場選手の為にも来年7月23日に東京五輪が無事に開会し、コロナウイルスと言う未知なる病に打ち勝ち、盛大に開催されることを世界中の人々が祈っています。

又、コロナウイルスの経済に与える影響も甚大で、自動車生産はすべての国内組み立て工場、海外の生産工場の一時的休業など車産業の停滞、国内の観光業の減収、飲食店の減収など、これからどれだけの影響が出てくるのか全く想像出来ない状態です。政府の経済対策はリーマンショック以上のかつてない規模のものになると発表がありましたが、その内容はまだ明らかになっていません。諸外国から見ると対応の遅さが問題とされています。京大の山中教授曰く「この戦いは短距離走ではなくマラソンである」終息迄1年は覚悟しなければならないと言っています。早く対策の詳細を発表して少しでも国民の不安を解消する事、又追加の対策も考えておいて欲しいものであります。

製造業である私の会社では、社員が出勤出来ない場合本当に休業できるのか、テレワーク等の手段がない製造業の

社員が感染した場合企業活動の維持が困難になることは間違いありません。まずは社員及び関係者が感染しない様に、工場へ入る時の手洗いパブリックスペースの消毒、免疫力を高めるために規則正しい生活、など徹底し感染者が出ない様細心の注意を今一度見直し徹底する必要があります。

ひたひたと忍び寄る新型コロナウイルスとの闘いに負けること無く、現在の感染抑制が効果を上げ爆発的な感染が起こらない事を、そして一刻も早く治療薬とワクチンが開発され鎮静化に向かうことを願うばかりです。